



2022年4月8日

各位

会社名 株式会社 コックス
 代表者名 代表取締役社長
 兼 デジタル推進本部長 三宅 英木
 (コード番号：9876 東証スタンダード)
 問合せ先 経理部長 柳澤 愛
 (TEL：03-5821-6070)
 当社の親会社 イオン株式会社
 代表者名 取締役兼代表執行役社長 吉田 昭夫
 (コード番号：8267 東証プライム)

個別業績の前年実績値との差異に関するお知らせ

当社は、個別業績予想につきましては公表を行なっておりませんが、2022年2月期の個別業績につきまして、前年実績値との差異が生じたので下記の通りお知らせいたします。

記

1. 個別業績の前年実績値との差異について

2022年2月期通期個別実績の前年実績値との差異(2021年3月1日～2022年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前年実績(A) (2021年2月期)	百万円 16,306	百万円 △694	百万円 △592	百万円 550	円 銭 19.96
当期実績(B) (2022年2月期)	13,271	△877	△823	△1,362	△49.33
増減額(B-A)	△3,034	△183	△230	△1,912	—
増減率(%)	△18.6	—	—	—	—

2. 差異の理由

当期は前期に続き新型コロナウイルス感染症の拡大により緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が繰り返し発動する中で、店舗の休業や営業時間短縮等が行われ厳しい状況が続きました。

こうした中、当社においては、事業構造改革を行い、再成長に向けた取り組みを開始して参りました。

緊急事態宣言が解除となった、10月、11月においては当社商品の認知度向上及び新しい顧客の取り込みを図るため著名タレントとタイアップした雑誌掲載を行い、セールス時期における販促方法を大幅に見直すことにより売上総利益率の改善を図り、更には仕入コントロールによる在庫の削減、販管費の削減に取り組んで参りましたが、売上高、営業利益を回復するまでには至りませんでした。

上記理由に加え、期中に24店舗の閉店を行なった結果、前期実績と比べ、売上高は前期比81.4%、更に営業利益、経常利益、当期純利益も2021年2月期を下回りました。

なお、2022年1月12日付の「特別損失の計上に関するお知らせ」に記載しましたとおり、「ファッションマスク」及びマスク関連商品の取扱い中止を決定したことにより発生が見込まれるブランド整理損3億70百万円を特別損失として計上をいたしております。

以上